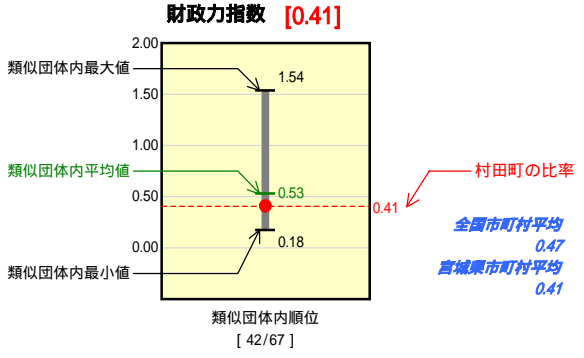


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

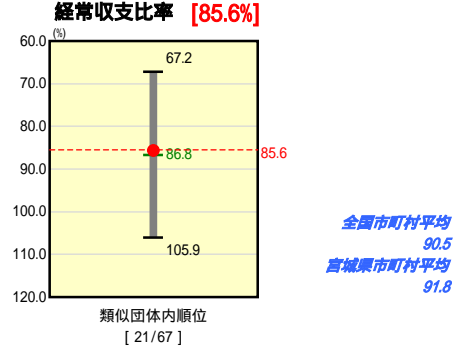
## 宮城県 村田町

人口	12,962人(H17.3.31現在)
面積	78.41 km <sup>2</sup>
歳入総額	5,873,371千円
歳出総額	5,701,926千円
実質収支	145,292千円

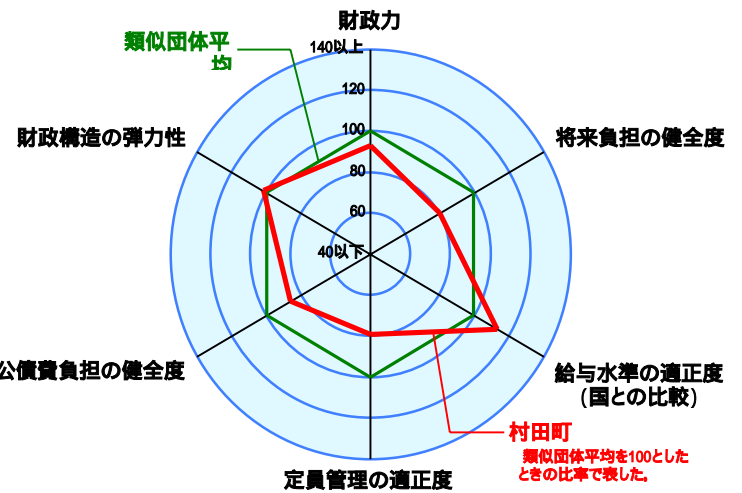
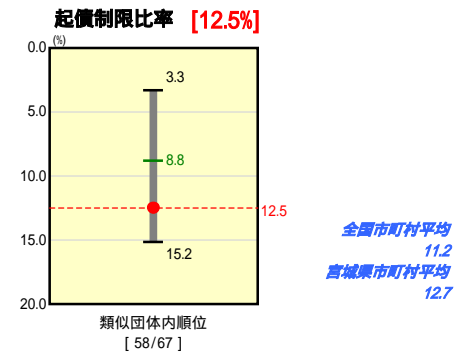
### 財政力



### 財政構造の弾力性



### 公債費負担の健全度



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

**分析概**

**財政力指数**

- 人口の減少や少子高齢化に加え町内の基幹産業の低迷等により、財政基盤が低下し類似団体平均を下回っている。今後は、組織の見直しや行財政改革プランに沿った施策の重点化の両立に努め、活力あるまちづくりを展開しつつ、行政の効率化に努めることにより、財政の健全化を図る。

**経常収支比率**

- 類似団体平均をやや上回っているが、福祉関係経費等の増加により比率は年々上昇傾向にある。人件費の削減など行財政改革への取組を通じて義務的経費の削減に努め経常収支比率を低下させるよう努める。

**起債制限比率**

- 過去の景気対策等や社会資本の整備のため発行した普通建設事業に係る地方債の償還等に伴い上昇し、類似団体平均を上回る結果となっている。今後は、緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業を厳選し、併せて単独事業の抑制を図り、償還額の平準化及び起債制限比率の低下に努める。

**人口1人当たりの地方債現在高**

- 近年の地方債の落ち込みや減税補てん、経済対策に伴う公共投資の追加や臨時財政対策債の発行等により増加傾向となっている。今後は、人件費をはじめ義務的経費の削減を中心とする行財政改革を強力に推進すると共に、自治体の特性を活かした独自の発想や創意工夫により地方債発行の抑制に努める。

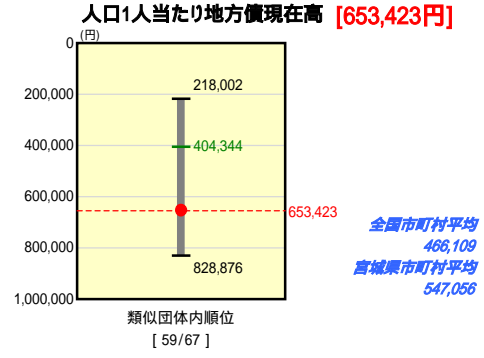
**ラスパイレス指数**

- 類似団体平均を3.7%、全国平均を2.3%それぞれ下回る結果となっており、給与水準は低い状況にある。諸手当の見直しを図るなど引き続き給与の適正化に努める。

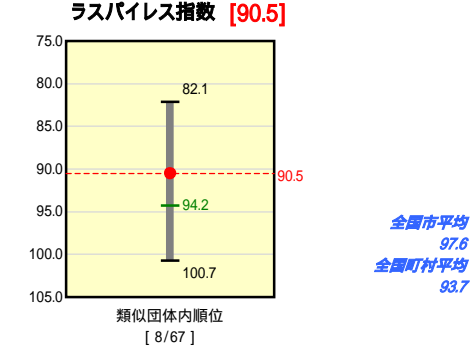
**定員管理の適正度**

- 行財政改革プログラムに基づき、平成18年度から平成22年度までの各年度において退職者の補充は原則1人に留め、削減を図る計画である。

### 将来負担の健全度



### 給与水準の適正度(国との比較)



### 定員管理の適正度

